

第1回理事会・第1回評議員会 議決

令和5年度 事業報告

公益財団法人テクノエイド協会

目 次

I. 事業実施結果の概要	1
1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）	1
(1) 福祉用具情報システム（TAIS）事業	1
(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業	2
(3) 補装具製作者情報システム事業	3
(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業	3
(5) 自助具の製作支援等情報提供事業	3
2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）	4
(1) 福祉用具プランナー養成事業	4
(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施	5
(3) リフトリーダー養成事業	5
(4) 車椅子姿勢保持基礎講習	6
(5) 福祉用具テーマ別セミナー	7
(6) 認定補聴器技能者の養成	7
3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）	10
4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）	10
5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）	13
6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）	13
7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）	14
8. その他	14
(1) 福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」 としての役割を果たすための連携・支援	14
(2) 広報活動	15
(3) 海外調査の企画支援	15
(4) 諸外国との交流支援	15
II. 理事会・評議員会の開催状況	16
III. 評議員・役員の異動	18
IV. 賛助会員の現況	20
V. 委員会等の開催状況	21

I. 事業実施結果の概要

概況

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが「5類感染症」に変更された。5月8日以降、感染防止対策は、個人や事業者の判断による自主的な取組が基本となり、当協会の業務についても通常の業務体制に戻ることとした。

生産年齢人口の急速な減少が始まる2040年を見据えて社会保障構造の見直しが進められる中、厚生労働省の令和5年度予算における福祉用具関係等の重点事項として介護分野におけるICT・ロボット等の導入支援等が盛り込まれた。この予算により、高齢者等が福祉用具やICT・ロボット等を必要に応じて活用し、地域社会で活力をもって生活するための支援システムの構築を行うよう各自治体に求めている。

また、障害者の補装具としての補聴器の活用という視点だけでなく、近年フレイル予防や認知症対策の観点からも高齢難聴者の早期発見・早期介入が叫ばれ、その基盤づくりが求められている。

当協会の令和5年度の事業の実施に当たっては、これら施策の動向等に注視しつつ、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具関係技能者の養成、義肢装具士にかかる試験事務、認定補聴器技能者の養成・研修事業などの各種事業に確り取り組み、事業計画で計画した目標を概ね達成することができた。

1. 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業（公益目的事業1）

（1）福祉用具情報システム（TAIS）事業

高齢者・障害者の適切な福祉用具の選定と効果的な利用を促進するため、国内の福祉用具メーカー又は輸入事業者から「企業」及び「福祉用具」に関する詳細情報を収集し、協会ホームページを通じて、全国の市区町村をはじめ、福祉用具貸与事業者、介護施設・事業所のほか、介護支援専門員や家族介護者等に対して情報発信した。

令和5年度は、介護保険制度における選択制導入に伴うシステムを変更した。また、検索システムの利便性向上を図るため、福祉用具の利用シーンや利用場面等の追加および絞込み機能等を拡充した。

《 令和6年3月末現在 情報総数 》

企業情報	783社
用具情報	16,837点

■福祉用具情報の分類別件数

大分類項目		登録件数	構成比(%)
03	治療訓練用具	1,021	6.0
06	義肢・装具	16	0.1
09	パーソナルケア関連用具	1,332	7.9
12	移動機器	5,882	34.9
15	家事用具	21	0.1
18	家具・建具・建築設備	7,687	45.6
21	コミュニケーション関連用具	792	4.7
24	操作用具	24	0.2
27	環境改善機器・操作用具	46	0.3
30	レクリエーション用具	1	0.1
89	その他の用具	15	0.1
合計		16,837	100.0

■介護保険対象用具(用具情報のうち)

貸与	13,386点
購入	1,388点
計	14,774点

■登録件数の推移

事業年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
企業情報件数 (対前年度増減)	814 (6)	815 (1)	811 (△4)	797 (△14)	783 (△14)
用具情報件数 (対前年度増減)	13,696 (633)	14,612 (916)	15,270 (658)	15,808 (538)	16,837 (1,029)

(2) 福祉用具ニーズ情報収集・提供システム事業

協会ホームページを通じて、障害者や介護者等からの福祉用具に関するご意見・ご要望、お困り事等の詳細情報を収集し、全国の福祉用具メーカーや開発・研究者等へ提供した。障害者や高齢者等が真に必要とする福祉用具についての生の声に触れることにより、ニーズを的確に捉えた実用的な福祉用具の研究開発を推進した。

なお、本システムでは、メーカーや研究者等から新しい製品や技術の投稿を可能にするとともに、障害福祉の関係者や行政等が自由に投稿できるお知らせ(掲示版)機能を設けている。

令和5年度においては、モニター評価機関等を募集・登録するシステムを構築するとともに、本システムのデザインを一新し、操作マニュアルも改定した。

令和6年3月末現在 投稿件数 1,010件

(3) 補装具製作者情報システム事業

障害者や市町村等の担当者が適切な補装具を選定できるようにするため、義肢製作所の所在地や取扱い種目、義肢装具士等の情報を協会ホームページから情報発信している。

《 令和6年3月末現在 情報総数 》

義肢製作所	240製作所
-------	--------

(4) 義肢装具等完成用部品情報システム事業

障害者総合支援法に基づく「義肢・装具及び座位保持装置の完成用部品」について、障害者の身体状況や使用環境に適合した適切な部品が選定・処方されるよう、当該部品の対象者とその効果、さらには適応範囲や調整方法等に関する詳細情報を収集し、協会ホームページから情報発信している。

令和5年度においては、詳細情報の表示項目の拡充及び解説を作成した。また、本システムの情報登録企業及び利用者の利便性向上のため、デザインの一新、詳細情報入力のためのフォーマット作成及びオンライン申請を実装するためのシステム改修を行った。

《 令和6年3月末現在 情報総数 》

企業情報	85社
部品情報	3,511点
(内 訳)	
殻構造義肢	676点
骨格構造義肢	1,300点
装具	661点
座位保持装置	874点

(5) 自助具の製作支援等情報提供事業

障害者の自立を支援するものとして、個別のニーズに応じて製作される自助具について、特定非営利活動法人「自助具の部屋」と連携して、自助具製作に有用な材料や工作法等に関する詳細情報を収集し、全国の自助具工房及びリハビリテーションセンター等へ情報提供した。

令和6年3月末現在 登録数 既製品155件 製作事例173件

2. 福祉用具の適合調整、使用指導等を行う福祉用具関係技能者の養成、 資格認定及び研修等に関する事業（公益目的事業2）

（1）福祉用具プランナー養成事業

福祉用具の選定や使用方法等に関する専門的な知識を有し、福祉用具が適切に利活用できるように支援する役割を担う福祉用具プランナー認定講習を実施した。

当初計画した現行のシステム等を活用した新たな福祉用具関連職種の養成の検討については、管理指導者資格取得者からも講師となる人材も出始めているところであり、当面は現在の養成体系を継続しつつ、必要に応じて今後検討することとした。

（認定者累計 15,789 名）

なお、福祉用具プランナーのさらなる質の向上を図り、福祉用具プランナー認定講習等の指導者（講師）養成、福祉用具貸与事業者等の管理職養成を目的に、福祉用具プランナーの上級資格である「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」の実施については、受講希望者からの要望を受けて、単年度で資格取得が可能となるよう4コースを単年度で実施した。

（認定者累計 163 名）

① 福祉用具プランナー認定講習

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 55名

2) 他団体と共催

a) 介護実習・普及センター

- ・開催地 北海道、富山、愛知
- ・修了者 36名

b) 関係団体

- ・開催地 東京、神奈川、滋賀、大阪、沖縄
- ・修了者 129名

3) 教育機関と共催(新潟医療福祉大学、西武学園医学技術専門学校、日本福祉大学、 神戸医療福祉専門学校)

- ・開催地 新潟、東京、愛知、兵庫
- ・修了者 54名

■修了者の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修了者 (対前年度増減)	404 (74)	117 (△287)	173 (56)	312 (139)	274 (△38)

(注) 令和3年度は令和4年4月実施分を含む。

② 福祉用具プランナー管理指導者養成研修

開催コース	研修期間	開催地	受講者数
起居移乗コース	R5.7.1(土)～7(金)	東京	8名
車椅子シーティングコース	R5.9.2(土)～8(金)	東京	8名
福祉用具工学コース	R5.11.11(土)～17(金)	東京	11名
管理・指導コース	R6.1.15(月)～21(日)	東京	11名

(2) 可搬型階段昇降機安全指導員の認定と講習会の実施

介護保険制度において可搬型階段昇降機を貸与する事業者（福祉用具専門相談員）には、メーカー等による操作講習を受講し、実際に貸与する際に可搬型階段昇降機を介護者に使用させながら操作指導を行うことが義務付けられている。

このため、国内メーカー等が加入している「全国福祉用具人材育成協会」と連携し、可搬型階段昇降機の安全指導員講習（基礎講習（協会実施）及び機種別講習（メーカー実施））を実施し、一定の水準に達した者に可搬型階段昇降機安全指導員資格証を交付した。

（安全指導員資格証交付者数累計 3,174名）

① 基礎講習開催実績

1) テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 111名

2) 他団体と共催

- ・開催地 愛知、大阪、福岡
- ・修了者 87名

② 可搬型階段昇降機安全指導員資格証の交付実績

- ・交付者数 167名

■ 基礎講習修了者及び資格証交付実績の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基礎講習修了者 (対前年度増減)	258 (31)	99 (△159)	213 (114)	245 (32)	198 (△47)
資格証交付実績 (対前年度増減)	141 (△26)	104 (△37)	132 (28)	196 (64)	167 (△29)

(3) リフトリーダー養成事業

施設等介護従事者の腰痛予防や要介護者の移乗動作を安心・安全に行うためのリフト等の移乗用具を適切に導入、利用するためには施設内で使用計画・利用相談・適切な使用のための研修・使用方法の指導等が重要であり、この中核となる人材としてリフトリーダーの養成研修を実施した。

また、カリキュラムの見直しおよびテキストの改訂については、当初令和6年度より適用する予定であったが、類似する研修・資格制度を参考に関係団体等の意見を踏まえ更なる検討を重ね、令和7年度より新カリキュラムに移行する予定である。

(修了者累計 6,832 名)

○リフトリーダー養成研修開催実績

①テクノエイド協会主催

- ・開催地 東京
- ・修了者 54名

②介護実習・普及センター（テクノエイド協会主催）

- ・開催地 茨城、富山、愛知、兵庫、佐賀、大分
- ・修了者 191名

③他団体と共催

- ・開催地 北海道、千葉、東京、新潟、滋賀、大阪、兵庫、鳥取、広島、愛媛、宮崎
- ・修了者 351名

④教育機関（国際医療福祉大学、沖縄福祉保育専門学校）

- ・開催地 東京、沖縄
- ・修了者 64名

■修了者の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修了者 (対前年度増減)	750 (39)	186 (△564)	231 (45)	533 (302)	660 (127)

(4) 車椅子姿勢保持基礎講習

高齢者の体幹機能や座位保持機能の低下を軽減し、活動範囲の拡大と自立促進を目的とした車椅子での適切な姿勢保持の知識、技術を習得するための講習会（高齢分野、障害分野）を実施した。

(修了者累計高齢分野 133 名／障害分野 178 名)

【高齢分野】

①テクノエイド協会主催（高齢分野）

- ・開催地 東京
- ・修了者 27名

②他団体と共催

- ・開催地 東京
- ・修了者 16名

【障害分野】

①他団体と共催

- ・開催地 東京
- ・修了者 60名

■修了者の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高齢分野 (対前年度増減)	24	コロナの ため中止	20 (△4)	53 (33)	43 (△10)
障害分野 (対前年度増減)	実施機関 なし	コロナの ため中止	48	50 (2)	60 (10)

(注1) 車椅子姿勢保持基礎講習の前身である「車いすフィッティングセミナー」
修了者は409名である。

(5) 福祉用具テーマ別セミナー

令和5年度より、特定のテーマを設定し、対象者を絞った専門性の高いセミナーを開催し、福祉用具、住宅改修等が生活全般の支援に役立つための専門的な知識、技術の向上を図ることを目的にセミナーを開催した。令和5年度は、6テーマのセミナーを企画し実施した。

テ ー マ	開 催 日	受講者数
車椅子の調整ポイントと実践	令和5年6月16日(金)	18名
初心者のための工具の基礎知識から車椅子整備まで	令和5年6月22日(木)～23日(金)	10名
エアマットレスを使いこなそう	令和5年8月4日(金)	20名
移乗動作！こんな用具も使えるね	令和5年9月15日(金)	12名
共用品を知ろう！& 自助具ワークショップ	令和5年10月10日(火)	8名
見て！触れて！義肢・装具の基礎知識を学ぼう！	令和5年11月22日(水)	9名

(6) 認定補聴器技能者の養成

補聴器の安全で効果的な利用を推進するため、補聴器の選定等の相談に応じ、購入希望者に対する適合調整を実施し、使用指導を行うために必要な知識及び技能の習得を目的として認定補聴器技能者の4年間にわたる養成講習を行うとともに、最終年に認定試験を実施した。

また、令和5年度においては、オンラインによる各種変更申請が可能となるよう新たなシステムを構築し、変更申請手続の簡便化を図った。

さらに、補装具費支給制度において、認定補聴器技能者が補聴器を調整する場合に加算額が支給されることに伴い、市区町村担当者が認定補聴器技能者の勤務先等を確認することができるよう協会ホームページから情報提供した。

① 認定補聴器技能者養成講習会を次のとおり実施した。

1) 第Ⅰ期養成課程のeラーニング

区 分	受講期間	受講者数	修了者数
第Ⅰ期養成課程のeラーニング	R5.7.1(金) ～10.31(月)	755名	715名

2) 第Ⅰ期養成課程のスクーリング

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R6.1.15(月) ～1.16(火)	東 京	327名	309名
第2回 第Ⅰ期養成課程のスクーリング	R6.1.22(月) ～1.23(火)	東 京	374名	370名
合 計			701名	679名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

3) 第Ⅱ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R5.10.16(月) ～10.20(金)	東 京	265名	259名
第2回 第Ⅱ期養成課程の集合講習	R5.11.20(月) ～11.24(金)	東 京	286名	284名
合 計			551名	543名

※「修了者数」には、再受験での修了者も含む。

4) 第Ⅲ期養成課程の実技実習

区 分	開催日	場 所	受講者数	修了者数
第1回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R5.8.7(月) ～8.8(火)	東 京	255名	255名
第2回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R5.8.9(水) ～8.10(木)	東 京	205名	205名
第3回 第Ⅲ期養成課程の実技実習	R5.9.20(水) ～9.21(木)	東 京	200名	200名
合 計			660名	660名

5) 第Ⅳ期養成課程の集合講習

区 分	開催日	場 所	受講者数
福岡開催	R5.6.1(木)	福 岡	58名
大阪開催	R5.6.7(水)	大 阪	113名
東京開催	R5.7.3(月)	東 京	242名
合 計			413名

6) 認定補聴器技能者試験

区分	試験日	場所	出願者 (名)	受験者 (名)	合格者 (名)	合格率 (%)
第31回認定補聴器 技能者試験	R5.11.2(木)	東京	420	420	353	84.0

認定補聴器技能者試験合格者累計: 6, 252名(平成5年第1回～令和5年度第31回)

認定補聴器技能者登録者数: 4, 837名(令和6年4月1日現在)

■受講者及び受験者の推移

	第I期養成課程 eラーニング	第I期養成課程 スクーリング	第II期養成課程 集合講習	第III期養成課程 実技実習	第IV期養成課程 集合講習	認定補聴器 技能者試験
令和3年度 (対前年度 増減)	633 (△2)	633 (372)	301 (△25)	351 (15)	358 (△52)	373 (73)
令和4年度 (対前年度 増減)	551 (△82)	591 (△42)	645 (344)	443 (92)	385 (27)	388 (15)
令和5年度 (対前年度 増減)	755 (204)	701 (110)	551 (△94)	660 (217)	413 (28)	420 (32)

② 認定補聴器技能者に対する講習を次のとおり実施した。

(資格更新のため、5年以内に指定された7課目の講習受講が必要)

区分	課目	開催日	場所	受講者数
宮城開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.7.10(月) ～7.11(火)	仙台	115名
岡山開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.7.15(土) ～7.16(日)	岡山	108名
北海道開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.7.20(木) ～7.21(金)	札幌	82名
福岡開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.7.26(水) ～7.27(木)	福岡	171名
大阪開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.8.2(水) ～8.3(木)	大阪	199名
愛知開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.8.23(水) ～8.24(木)	名古屋	250名
神奈川開催	法規、接遇、音声・言語、機能・音響、フィッティング障害者福祉・リハ、臨床医学	R5.8.30(水) ～8.31(木)	川崎	130名
東京開催	法規、機能・音響、接遇、障害者福祉・リハ、フィッティング、臨床医学、音声・言語	R5.9.7(木) ～9.8(金)	東京	299名
合計				1, 354名

3. 福祉用具の臨床的評価に関する事業（公益目的事業3）

臨床的評価事業

福祉用具を利用する人の状態像や使用場面に着目して、製品の「安全性」や「利便性（使い勝手）」等の評価し、一定の基準を満たしているとして認証された用具についての情報を提供した。

また、令和5年度においては、福祉用具プランナー研究ネットワーク（プラネット）と今後の福祉用具臨床的評価事業のあり方等について意見交換を行った。

認証マーク取得件数：10件（令和6年3月末現在）

4. 福祉用具等に関する調査研究事業（公益目的事業4）

（1）厚生労働省の補助金等による事業

① 福祉機器開発普及等事業

障害者総合支援法に基づく完成用部品の構造や機能、効果等に関する詳細情報については、当協会においてメーカー等から任意で情報を収集し、「義肢装具等完成用部品情報提供システム」を通じて更生相談所や市町村等へ情報提供している。

令和5年度は、当協会に検討会を設置し、指定部品のデータ管理及び連携をより確実にするための方策について、昨年引き続き検討するとともに、部品コードの活用方策及び表示項目の解説等について整理・検討した。

② ニーズ・シーズマッチング強化事業

自立支援機器のユーザー（障害者等）側が持つ「ニーズ」と開発側が持つ「シーズ」のマッチングを目的とした「ニーズ・シーズマッチング交流会 2023」を開催した。これにより試作機等を用いて想定するユーザーと開発者が膝を交えて意見交換できる場を設け、障害当事者のニーズを適切に踏まえた実用的な機器が開発されるよう効果的なモニター評価を行う機会等を創出した。

令和5年度は、Web開催（4ヶ月間）及び東京と大阪にて会場開催を実施した。また、協会ホームページには「Web交流プラットフォーム」を構築し、Web上でのマッチングを可能にするとともに、セミナーや講演等の内容については、常時配信や定期配信を行った。地域交流会は、小樽、樺原、和歌山、熊本の4会場にて開催した。

【Web開催】

- ・開催日 令和5年10月1日（日）～令和6年1月31日（水）
- ・場所 テクノエイド協会 Web交流プラットフォーム内
- ・出展参加 104企業・団体
- ・トップページアクセス数 13,950回

【大阪会場】

- ・開催日 令和5年11月27日（月）～29日（水）
- ・場所 OMM（2階展示Aホール）
- ・出展参加 64企業・団体
- ・当日来場者 520名

【東京会場】

- ・開催日 令和5年12月12日（火）～12月14日（木）
- ・場所 東京都立産業貿易センター浜松町館（5階展示室）
- ・出展参加 88企業・団体
- ・当日来場者 667名

③ 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器等」）について、開発・普及の支援と開発企業や介護施設に必要な情報提供等を行った。また、相談窓口を設置し、行政、関係団体、一般の方等の幅広い問合せに対応する体制を整えた。

令和5年度は、介護ロボットのプラットフォーム事業等において必要なツール作成等の支援業務等をはじめ、介護機器の利用に関する安全性の確保や普及活動を行うことにより、介護機器の実用化を促す環境を整備し、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化することを目的とした。

本事業で実施した主な事業内容は以下のとおりである。

1) モニター調査等の実施

高齢者介護の現場において、真に必要とされる介護機器等の開発に資するため、開発早期段階の介護機器等について意見交換を行う「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、実機による試用を行い専門職が助言する「試作機器へのアドバイス支援事業」及び、実際の介護現場において使い勝手の確認等を行う「モニター調査事業」を実施した。

2) 介護ロボット全国フォーラム

国民の誰もが介護ロボットについて必要な知識が得られるよう普及・啓発を促進するため、「介護ロボット全国フォーラム」を開催した。会場及びオンライン参加を合わせ、約750名の方にご参加いただいた。

3) 介護ロボット活用ミーティング

介護職員による介護機器の効果的な活用を促すことを目的に「介護ロボット活用ミーティング」を開催した。

発表者は有識者の他、介護ロボットの開発・実証フィールドに登録している施設・事業所等からも希望者を募り、9事業所（10事例）にご発表いただいた。

4) 介護機器等の実態調査

都道府県の地域医療介護総合確保基金によって実施されている「介護ロボットの導入支援事業」等の実施状況についての取りまとめを行った。

また、開発・導入に係る助成制度について全国調査を行い、その結果を都道府県別に閲覧できるよう集約した。

5) 介護機器等の安全利用に関する取組

本取組みでは、福祉用具等の利用に伴う安全性等の確保をより一層推進するため、「事故やヒヤリハットの情報」を効果的に活用するための検討委員会を設立し、必要な整理を行うとともに、事故等の報告及び関係機関等への発信を行った。

具体的には、実際に発生した事故情報等の要因分析を行い、重症事故等を未然に防ぐための事例を作成し、冊子の配布及びホームページから情報発信した。これまでの取組を合わせ、全416事例の情報提供を行っている。

6) 冊子の作成

モニター調査等の実施結果を取りまとめた「福祉用具・介護ロボットの開発と普及」及び、全国の相談窓口にて試用貸出を受け付ける場合に活用する「介護ロボットの試用貸出リスト」などの冊子を作成し関係機関等へ配布した。

④ 福祉用具貸与価格適正化推進事業

介護保険における福祉用具貸与価格の適正化を推進するため関係機関と連携を図りながら、価格情報の把握及び公表、相談窓口の設置等を行った。

福祉用具貸与サービスの給付費請求時に必要とされる商品コードについては、毎月1日に公表するとともに、貸与価格の上限については、令和5年4月、7月、11月及び令和6年1月の計4回、厚生労働省及び国保中央会とデータ連携を行い、協会ホームページから情報提供した。

⑤ 障害者政策総合研究事業

令和5年度においては、補聴器が備える機能と価格について整理を行い、利用者が必要とする機能を備える補聴器について適正な価格で支給できるように基準価格を見直す制度改正のための各種調査及び分析を目的とし、全国の補聴器販売店を対象とした販売価格、販売台数等の実態調査を行った。

(2) 消費生活協同組合の助成金による事業

○消費生活協同組合助成金事業

福祉用具専門相談員等が福祉用具を適合する際に、基本的な操作方法や事故回避のための正しい使い方、ヒヤリハット等をわかりやすく説明することができるような啓発動画を作成した。

令和5年度においては、車椅子の適切な普及に資する動画を作成し、今後、当協会のSNS配信事業の拡充に併せて配信の準備に取り掛かる予定である。

5. 義肢装具士国家試験の実施（公益目的事業5）

義肢装具士法による指定試験機関として、第37回義肢装具士国家試験を実施した。

- ・試験日 令和6年2月22日（木）
- ・試験地 東京
- ・合格発表 令和6年3月26日（火）

■試験結果

受験者数	合格者数	合格率
194人	154人	79.4%

第1回～第37回までの累積合格者数は6,327名

■受験者、合格者及び合格率の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受験者数 (対前年度増減)	208 (△55)	227 (19)	181 (△46)	200 (19)	194 (△6)
合格者数 (対前年度増減)	164 (△71)	165 (1)	124 (△41)	162 (38)	154 (△8)
合格率	78.8%	72.7%	68.5%	81.0%	79.4%

6. 認定補聴器専門店の認定に関する事業（公益目的事業6）

補聴器の適正な利用・普及の一層の推進を図るため、所要の人的及び物的要件並びに事業運営上の基準に適合していることが、書類審査と実地調査によって確認された補聴器販売店を「認定補聴器専門店」として認定するとともに、5年毎の更新認定を受けた店舗と合わせて認定補聴器専門店に関する情報を協会ホームページから提供した。

令和5年度新規認定	40店
令和5年度更新認定	211店
令和6年度認定店（R6.4.1）	1,005店

■新規認定、更新認定及び認定店の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規認定 (対前年度増減)	92 (54)	0 (△92)	95 (95)	49 (△46)	40 (△9)
更新認定 (対前年度増減)	238 (161)	148 (△90)	278 (130)	124 (△154)	211 (87)
認定店 (対前年度増減)	879 (73)	879 (0)	951 (72)	985 (34)	1,005 (20)

7. 福祉用具に関する書籍等の作成・編集及び販売に関する事業（収益事業）

福祉用具について学習する者のために、福祉用具関連書籍の販売等を行っている。

書 籍 名	販売部数
福祉用具支援論	17
ICFの視点に基づく自立生活支援の福祉用具	224
計	241

8. その他

（1）福祉用具関係団体の「福祉用具・福祉機器プラットフォーム」としての役割を果たすための連携・支援

①「福祉用具」関係者新年交流会の開催

福祉用具関係者の団体、行政関係者、企業などが一堂に会して報告や意見交換を行い、ネットワーク形成を行う場としての新年交流会を開催した。

- ・日 時 令和6年1月10日（水）14：00～19：00
- ・会 場 アルカディア市ヶ谷（穂高の間、大雪の間）
- ・参加者 115名（行政、専門職、メーカー、供給事業者等）
- ・内 容 第1部 関連団体報告会、第2部 懇親会

②介護実習・普及センター等オンラインミーティングの開催

全国福祉用具相談・研修機関協議会と連携し、福祉用具、介護ロボット等を地域で普及・啓発するための拠点となる全国の介護実習・普及センター等とオンラインミーティングを開催し、意見交換、情報共有等を行った。

回 次	開 催 日	参加か所数	参加者人数
第1回	令和5年5月19日	12	23
第2回	令和5年7月28日	11	17
第3回	令和5年10月20日	11	19
第4回	令和6年3月1日	10	20

(2) 広報活動

- ① 「福祉用具の日」推進事業の一環として実施する「福祉用具川柳コンテスト」にかかるポスター等の配布等を行った。
- ② 国際福祉機器展等への出展
下記のとおり展示会等に出展し、福祉用具、国民の聞こえの保障について広報を行った。

名 称	会 期	会 場
第124回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	令和5年5月15日～20日	福岡国際会議場
第24回日本語聴覚学会	令和5年6月23日～24日	愛媛県県民文化会館
第50回国際福祉機器展(HCR)	令和5年9月27日～29日	東京ビックサイト

- ③ 情報誌については、予算削減のため発行を見合わせ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報活動を検討した。

(3) 海外調査の企画支援

当協会と福祉用具・生活支援用具協会(JASPA)の共同企画により、タイ王国バンコクで開催されるタイ王国最大の医療機器・ヘルスケア用品の展示会「Medical Fair Thailand2023」を視察するとともに、病院、介護施設、現地介護用品販売店の視察・現地福祉事情のレクチャー等の実情視察のための視察団を派遣した。

- ・訪問国 タイ王国
- ・期 間 令和5年9月14日（木）～9月19日（火）（6日間）
- ・参加者 12名

(4) 諸外国との交流支援

①日台介護事業関係者情報交流会

令和6年2月28日に台湾の行政機関である衛生福利部の幹部と日本の介護事業団体の関係者の情報交流会に参加した。

②AT Life2023 台湾福祉機器および長期介護展示会等への参加

令和5年5月4日から7日に台北で開催された「AT Life2023」から招待され、日本・台湾・ベトナム・タイの4か国による福祉機器の開発と評価に関する討論会に参加した。

また、台湾国内の福祉用具関係者を対象にした、日本と台湾における福祉用具給付システムに関する研究討議に参加した。

II. 理事会・評議員会の開催状況

開催年月日	回 次	主 な 議 題 等	出 席 等
令和5年5月25日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①令和4年度事業報告及び決算 ②諸規程改正等 ③任期満了に伴う役員候補者を役員候補者選考委員会へ推薦 ④役員候補者選考委員会委員候補者を評議員会へ推薦 ⑤任期満了に伴う評議員候補者を評議員会へ推薦 ⑥評議員選考委員会委員候補者を評議員会へ推薦 ⑦第1回評議員会の招集 ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について ③新しい資本主義の実現に向けた公益法人制度改革について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席10名、欠席5名)、監事出席2名
令和5年6月14日	第1回評議員会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 ①令和4年度事業報告及び決算 ②諸規程改正等 ③役員選任 ④役員候補者選考委員会委員選任 ⑤評議員選任 ⑥評議員選考委員会委員の選任 ・報告事項 ①基本財産の運用状況について ②職務の執行状況について ③新しい資本主義の実現に向けた公益法人制度改革について 	決議に必要な出席評議員の数8名(出席14名、欠席1名)
令和5年6月14日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 理事長及び常務理事の選定 	決議に必要な出席理事の数8名(出席15名)、監事出席2名

令和6年2月27日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・決議事項 <ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度事業計画及び予算の変更 ②令和6年度事業計画及び予算 ・報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ①職務の執行状況について 	決議に必要な出席理事の数8名(出席12名、欠席3名)、監事出席2名
-----------	--------	---	-----------------------------------

Ⅲ. 評議員・役員の異動

1. 令和5年6月14日 第1回評議員会

(1) 任期満了に伴う評議員の退任・選任

氏名	摘要	所属等
青戸義彦	重任	一般社団法人 日本補聴器販売店協会 理事長
阿部一彦	重任	社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会 会長
阿部秀実	重任	NPO 法人 日本補聴器技能者協会 理事長
岩元文雄	重任	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 理事長
小野木孝二	重任	一般社団法人 日本福祉用具供給協会 理事長
河原雅浩	重任	一般財団法人 全日本ろうあ連盟 理事
小林毅	重任	一般社団法人 日本作業療法士協会 理事
竹下義樹	重任	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会 理事長
土肥健純	重任	東都大学 幕張ヒューマンケア学部臨床工学科 客員教授
中山辰巳	重任	社会福祉法人 青森社会福祉振興団 理事長
芳賀信彦	重任	国立障害者リハビリテーションセンター 総長
花岡徹	重任	一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 会長

東江由起夫	新任	公益社団法人 日本義肢装具士協会 副会長
井上剛伸	新任	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長
原晃	新任	筑波大学 副学長・理事・附属病院長

小寺一興	任期満了	帝京大学医学部 名誉教授
野坂利也	任期満了	公益社団法人 日本義肢装具士協会 会長
山内繁	任期満了	NPO 法人 支援技術開発機構 理事長

(2) 任期満了に伴う理事の退任・選任

氏名	摘要	所属等
江澤和彦	重任	公益社団法人 日本医師会 常任理事
大橋謙策	重任	公益財団法人 テクノエイド協会 理事長
黒岩嘉弘	重任	公益財団法人 テクノエイド協会 常務理事
酒井健治	重任	社会福祉法人 友愛十字会 常務理事・事務局長
時吉重雄	重任	一般社団法人 日本義肢協会 理事長
成澤良幸	重任	一般社団法人 日本補聴器工業会 理事長
牧野和子	重任	一般社団法人 日本介護支援専門員協会 副会長
松永圭司	重任	一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 代表理事
山下和洋	重任	日本在宅医療福祉協会 副会長
渡邊慎一	重任	横浜市総合リハビリテーションセンター 副センター長

岩崎好宏	新任	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会 常任協議員
清宮清美	新任	公益社団法人 日本理学療法士協会 常務理事
黒羽真美	新任	一般社団法人 日本言語聴覚士協会 常任理事
古都賢一	新任	一般財団法人 保健福祉広報協会 理事長
山内繁	新任	NPO 法人 支援技術開発機構 理事長

小林光俊	任期満了	学校法人 敬心学園 理事長
杉原素子	任期満了	前 国際医療福祉大学大学院 教授
諏訪基	任期満了	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 顧問
長岡英司	任期満了	社会福祉法人 日本点字図書館 理事長
日野博愛	任期満了	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国身体障害者施設協議会 前会長

(3) 任期満了に伴う監事の選任

氏名	摘要	所属等
瀬山 剛	重任	港総合会計事務所 公認会計士・税理士
山田 秀昭	重任	関東学院大学社会学部 客員教授

IV. 賛助会員の現況

1. 会員の構成（令和6年3月末現在）

法人会員：68団体（87口） 個人会員：8名（8口）

【内 訳】

属性	会員数	構成比
福祉用具製造事業者	44	57.9%
福祉用具供給事業者	2	2.6%
関係団体	12	15.8%
その他の企業	10	13.2%
個人	8	10.5%
計	76	100%

2. 入会及び退会

○入会（法人4団体、個人2名）

○退会（法人3団体、個人2名）

V. 委員会等の開催状況（テクノエイド協会が主催等を行うもの）

開催日	行事等
4月5日	認定補聴器専門店 認定申請事務説明会
4月24日	認定補聴器技能者更新システム改修検討委員会
4月25日	第1回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
4月27日	第4回リフトリーダーカリキュラム等改訂委員会
5月12日	監事監査
5月23日	認定補聴器専門店書類審査・実地調査委員会議
5月25日	第1回理事会
5月26日	第2回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
6月1日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅳ期講習会（福岡開催）
6月2日	第1回福祉用具プランナー認定試験委員会 介護ロボットメーカー連絡会議（TOC有明） 役員候補者選考委員会
6月7日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅳ期講習会（大阪開催）
6月9日	可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
6月14日	第1回評議員会 第2回理事会 第2回福祉用具プランナー認定試験委員会
6月16日	福祉用具テーマ別セミナー「モジュラー型・姿勢変換型車椅子の調整編」
6月19日	義肢装具士国家試験 方針決定・出題依頼会議
6月20日	第5回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会
6月22日	福祉用具テーマ別セミナー「工具の基礎知識と車椅子整備編」
6月26日	第3回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
7月1日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「起居・移乗コース」～7日
7月3日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅳ期講習会（東京開催）
7月10日	認定補聴器技能者に対する講習（仙台開催）～11日
7月14日	介護ロボット等モニター調査事業プレゼン参加企業説明会
7月15日	認定補聴器技能者に対する講習（岡山開催）～16日
7月18日	ニーズ・シーズマッチング交流会出展企業等説明会
7月19日	ニーズ・シーズマッチング交流会 第1回企画委員会
7月20日	認定補聴器技能者に対する講習（札幌開催）～21日
7月21日	介護機器の安全利用に関する第1回検討委員会

7月25日	第4回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会 認定補聴器技能者養成事業 第Ⅲ期養成課程聴力実習指導員事前説明会
7月26日	認定補聴器技能者に対する講習（福岡開催）～27日
7月27日	介護ロボット等モニター調査検討委員会
7月28日	第2回介護実習・普及センターオンラインミーティング
8月2日	認定補聴器技能者に対する講習（大阪開催）～3日
8月4日	福祉用具テーマ別セミナー「エアマット編」
8月5日	第1回補聴器協議会
8月7日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅲ期養成課程実技実習 日程①～8日
8月9日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅲ期養成課程実技実習 日程②～10日
8月18日	補聴器技能者試験部会（問題選定会議）
8月21日	義肢装具等完成用部品のデータ連携等に関する検討 第1回検討会
8月23日	認定補聴器技能者に対する講習（名古屋開催）～24日
8月24日	介護機器の安全利用に関する検討 事例検討部会
8月25日	第5回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会 第6回リフトリーダーカリキュラム・テキスト改訂委員会
8月30日	認定補聴器技能者に対する講習（川崎開催）～31日
9月2日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「車椅子シーティングコース」
9月7日	認定補聴器技能者に対する講習（東京開催）～8日
9月11日	義肢装具士国家試験 問題選定会議
9月14日	Medical Fair Thailand2023&タイリハビリテーション業界の視察～19日
9月15日	福祉用具テーマ別セミナー「移乗動作編」
9月19日	第2回可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
9月20日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅲ期養成課程実技実習 日程③～21日
9月21日	第1回リフトリーダー養成研修
9月25日	第6回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
9月27日	認定補聴器技能者試験部会（問題校正会議）
10月2日	義肢装具士国家試験 問題決定会議
10月10日	福祉用具テーマ別セミナー「共用品&自助具編」
10月16日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅱ期養成課程集合講習 日程① ～20日
10月18日	車椅子姿勢保持基礎講習～19日
10月20日	第3回介護・実習普及センターオンラインミーティング
10月23日	福祉用具ヒヤリハット情報 第2回事例検討部会

10月27日	第7回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
11月2日	第31回認定補聴器技能者試験
11月8日	義肢装具士国家試験 問題検閲会議
11月11日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「福祉工学コース」～17日
11月13日	介護ロボット等活用ミーティング ～17日
11月16日	認定補聴器技能者更新書類審査委員会議
11月20日	福祉用具プランナー合否判定会議 認定補聴器技能者養成事業 第Ⅱ期養成課程集合講習 日程② ～24日
11月22日	福祉用具テーマ別セミナー「義肢装具編」
11月24日	第8回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
11月27日	ニーズ・シーズマッチング交流会（OMM大阪）～29日
11月28日	第3回可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
12月6日	リフトリーダー養成研修～7日
12月11日	義肢装具士国家試験 問題校正会議
12月12日	ニーズ・シーズマッチング交流会（東京会場）（浜松町）～14日
12月15日	補聴器技能者試験部会（合否判定会議）
12月20日	車椅子姿勢保持基礎講習～21日
12月22日	第9回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
12月25日	義肢装具等完成用部品のデータ連携等に関する検討 第2回検討会
12月26日	介護機器の安全利用に関する情報の整理・報告・発信 第3回事例検討部会
1月10日	「福祉用具」関係者新年交流会（アルカディア市ヶ谷）
1月11日	福祉用具臨床的評価事業打合せ
1月12日	義肢装具士国家試験 最終問題校正会議
1月15日	福祉用具プランナー管理指導者養成研修「管理・指導コース」 認定補聴器技能者養成事業 第Ⅰ期養成課程スクーリング日程①～16日
1月22日	認定補聴器技能者養成事業 第Ⅰ期養成課程スクーリング日程②～23日 義肢装具士国家試験 最終確認
1月23日	リフトリーダー養成研修～24日
1月25日	第10回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会 補聴器技能者養成部会
1月26日	介護ロボット全国フォーラム（TOC有明）
1月27日	第2回認定補聴器専門店実地調査委員会議 認定補聴器専門店審査部会
1月30日	第4回可搬型階段昇降機安全指導員 基礎講習
2月3日	第2回補聴器協議会
2月6日	福祉用具プランナー認定講習 ～12日

2月20日	第2回介護機器の安全利用に関する検討委員会
2月22日	第37回義肢装具士国家試験（新宿住友ホール）
2月26日	第11回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
2月27日	第3回理事会
2月28日	第2回介護ロボット等モニター調査委員会
3月1日	第4回介護・実習普及センターオンラインミーティング
3月4日	第2回ニーズ・シーズマッチング強化事業企画委員会
3月11日	義肢装具士国家試験 問題審査・合否案決定会議
3月12日	完成用部品データ連携の在り方に関する検討会
3月16日	福祉用具プランナー認定講習（東京都福祉保健財団）～22日
3月18日	臨時回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
3月25日	第12回介護保険給付対象福祉用具情報検討委員会
3月26日	第37回義肢装具士国家試験合格発表 認定補聴器専門店説明会